



## Cisco SAN-OS Release 3.2(1) 以前のリリースでの Fabric Manager の起動

この付録では、Cisco SAN-OS 3.2(1) 以前のリリースで Fabric Manager Client を起動する方法を説明します。

この付録の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) のシードスイッチの設定」(P.A-1)
- 「Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースのシードスイッチの設定」(P.A-3)

## Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) のシードスイッチの設定



(注)

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降、Fabric Manager Client のログイン手順が変更されました。Cisco SAN-OS 3.1(1) 以前の Cisco SAN-OS を実行している場合は、「Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースのシードスイッチの設定」(P.A-3) のログイン手順に従ってください。

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ Release 3.2(1) では、ファブリックを検出する前あるいはファブリックに接続する前に Fabric Manager Server にログインする必要があります。ファブリックには異なるユーザクレデンシャルを設定できます。Web Server のスイッチごとに異なる SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティを指定できます。



(注)

初回ログイン時のデフォルトのユーザ名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。この情報はデータベースに保存されています。Fabric Manager Server と Web Server は同じユーザクレデンシャルデータベースを使用します。

Fabric Manager Server にログインしてファブリックに接続する手順は次のとおりです。

### ステップ 1

ワークステーションの [Fabric Manager Client] アイコンをダブルクリックします。  
[Fabric Manager Server Login] ダイアログボックスが表示されます (図 A-1 を参照)。

図 A-1 [Fabric Manager Server Login] ダイアログボックス



**ステップ 2** FM Server に、Fabric Manager Server がインストールされたマシンの IP アドレスを設定します。Fabric Manager Server をローカルワークステーションにインストールした場合は、**localhost** を設定します。

パスワードを忘れた場合は、次のいずれかのスクリプトを実行します。

- **bin¥webUserAdd.bat admin password** を実行すると、データベースにユーザ名とパスワードが追加されます。
- **bin¥DBReset.bat** を実行すると、データベースを初期状態に戻して検出したファブリックを削除します。

どちらのスクリプトも UNIX の .sh ファイルとして保存されています。

**ステップ 3** Fabric Manager Server のユーザ名とパスワードを入力します。

**ステップ 4** Fabric Manager Client が TCP ベース プロキシサーバを介して Fabric Manager Server と通信するように設定する場合は、[Use SNMP Proxy] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** [Login] をクリックします。Fabric Manager Server に正しくログインしたら、シードスイッチを設定してアクセス権があるファブリックを開きます。

図 A-2 に示すように、[Discover New Fabric] ダイアログボックスが表示されます。

図 A-2 [Discover New Fabric] ダイアログボックス



**ステップ 6** Fabric Manager で使用する Cisco MDS 9000 ファミリスイッチにファブリックシードスイッチを設定します。

**ステップ 7** スイッチのユーザ名とパスワードを入力します。

**ステップ 8** ログイン時には [Auth-Privacy] オプションで [MD5] (デフォルト) を選択します。

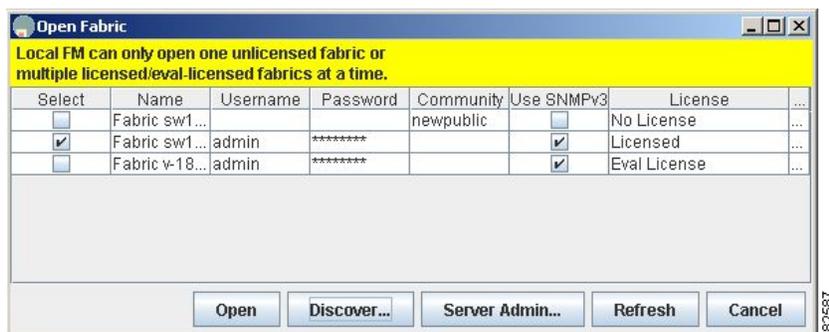


(注) 通常は [Accelerate Discovery] チェック ボックスはオンのままです。スイッチ IP アドレスを変更した場合にだけ、チェック ボックスをオフにします。このチェック ボックスをオフにして Fabric Manager で SAN ID を使用するとエラーが発生します。

**ステップ 9** [Discover] をクリックします。

[Open Fabric] ダイアログボックスが表示されます (図 A-3 を参照)。

図 A-3 [Open Fabric] ダイアログボックス



**ステップ 10** [Select] カラムの接続先ファブリックの隣にあるチェック ボックスをオンにします。または [Discover] ボタンをクリックして新しいファブリックを追加します。



(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降では、複数のファブリックに接続するにはライセンスが必要です。ライセンスがないファブリックに接続しようとすると、エラー メッセージが表示されません。



(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(2b) 以降、ライセンスには、永久ライセンス、評価ライセンス、ライセンスなし (すべての評価ライセンスが期限切れ) があります。

**ステップ 11** [Open] をクリックして、ファブリックに接続します。

## Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースのシードスイッチの設定



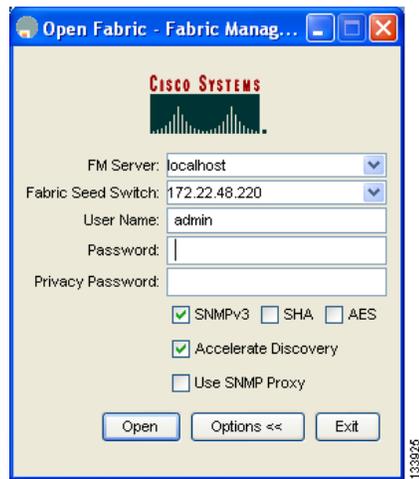
(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降、Fabric Manager Client のログイン手順が変更されました。Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) を実行している場合、「Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) のシードスイッチの設定」(P.A-1) のログイン手順を実行します。

Fabric Manager を実行する場合は、Fabric Manager のスイッチを選択してファブリックを検出します。Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースでは、接続するファブリックごとに同じユーザ名とパスワードを使用し、Fabric Manager を使用する MDS 9000 ファミリ スイッチに直接ログインします。

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前の Cisco SAN-O を実行してシード スイッチを設定する手順は次のとおりです。

- ステップ 1** ワークステーションの [Fabric Manager Client] アイコンをダブルクリックします。  
 A-4 に示すように、[Fabric Manager Login] ダイアログボックスが表示されます。

図 A-4 [Open Fabric] ダイアログボックス



- ステップ 2** このダイアログボックスのオプション設定を展開する場合は、[Options] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** FM Server に、Fabric Manager Server がインストールされたマシンの IP アドレスを設定します。Fabric Manager Server をローカル ワークステーションにインストールした場合は、**localhost** を設定します。
- ステップ 4** Fabric Manager で使用する MDS 9000 ファミリ スイッチにファブリック シード スイッチを設定します。
- ステップ 5** スイッチのユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 6** Fabric Manager Client が TCP ベース プロキシサーバを介して Fabric Manager Server と通信するように設定する場合は、[Use SNMP Proxy] チェックボックスをオンにします。



(注) 通常は [Accelerate Discovery] チェックボックスはオンのままです。スイッチ IP アドレスを変更した場合にだけ、チェックボックスをオフにします。このチェックボックスをオフにして Fabric Manager で非同期 SAN ID を使用するとエラーが発生します。

- ステップ 7** [Open] をクリックして、ファブリックに接続します。